

校章の由来

新学制が施行された昭和22年4月1日、鹿町村立鹿町・歌浦中学校が創設された。最盛期の鹿町中学校は400余名、歌浦中学校は900余名の生徒であったが、石炭から石油へのエネルギー革命の余波を受けた本町の人工減少に伴って、両中学校の生徒も激減していった。

これにより昭和47年4月両校は名目統合、翌48年度から実質統合された。これまで両校ともそれぞれに校章・校歌を有していた。しかし、統合により校章は新しく作り、校歌は現在の（旧鹿町中学校の校歌）を使用することになった。

これにより規定された現在の校章は下図である。デザインは中学校の「中」を、上に歌浦中学校の「う」・下に鹿町中学校の「し」の字をもじり、挟んで構成されている。

[昭和48年度第2回卒業 小田隆之（現佐世保市公立中学校教諭）氏の証言]

